

水素生成実証事業の進捗状況について

南砺リサイクルセンターに隣接する旧西部清掃センターは、平成7年度に同リサイクルセンター開設以降、約30年にわたり有効な活用方法が見出されず、遊休資産となっていた。

今般、同施設を解体し、その跡地をリサイクル困難な有機性廃棄物をガス化技術により水素に変換する「水素実証事業」の拠点として活用し、資源循環の新たなモデル構築を目指すものである。

○実証拠点

旧西部清掃センター跡地



○実証概要

事業者名：(株)BIOTECHWORKS-H2

実証内容：廃棄物(剪定枝)、実証物(繊維)等による水素生成技術実証

○進捗状況

月日	内容(場所)
R7.3.24	事業説明、地元代表者説明(場所:城端市民センター)
4.13	東太美地域づくり協議会 説明(場所:東太美交流センター)
4.17	南山田地域づくり協議会 説明(場所:南山田交流センター)
5.16	近隣住民説明(場所:桜クリエ)
6.9～11	土壌汚染概況調査 実施
7.22	水素実証事業に関する連携協定締結式
8.4	土壌汚染調査結果に関する住民説明会(場所:城端市民センター)
9.17～19	土壌汚染詳細調査及びアスベスト含有調査 実施
10.10	第1回水素生成実証事業運営協議会(場所:城端市民センター)
11.27	第2回水素生成実証事業運営協議会(場所:城端市民センター)